

人間の体内には、足と胴と胸の中に三匹の虫がいるといわれており、暦で2ヶ月に1度やつてくる庚申の日の夜、人が眠っている間に体を抜け出したこの三匹の虫が天に昇り、その人の善悪を天帝(※1)に告げ、その報告で天帝は、罪の軽重に応じてその人の寿命を縮め、時には命をも奪うこともあるといわれました。人間はそんなに善行ばかりでいるはずもないので、庚申の夜になると、人々は祠やお堂に集まり、お供えをして、無病息災を祈りながら、虫が体から抜け出して勝手に天帝へ報告に行かないように飲食をしながら明け方まで虫を見張って、起きていたそうです。干支による庚申の日は60日毎ですから、一年で6回巡って来ます。約3年で18回目の「庚申待ち」を達成した記念に、江戸時代終わりごろになると多くの集落で「庚申」の文字を彫った石塔を建てました。その記念塔がいつしか集落の守り神になっていきました。



下唐原貴船神社の庚申塔



街道脇の一里塚に置かれたと伝えられる庚申塔

教務課社会教育係 佐藤 信

庚申信仰とは

集落の境や中心、十字路など、一般的に石碑や石像の姿で祀られる集落の守り神として庚申塔があります。庚申塔は庚申信仰により発生したもので、江戸時代初めごろになると庶民にも広がっていきました。

庚申信仰

こうげのみどき
上毛風土記 Vol.120

町内所在の庚申塔

町内には、庚申待ちを達成した記念に建立されたと考えられる庚申塔が現在も5基ほど確認できます。また、庚申塔は街道沿いに置かれ、塔に道標を彫り付けられたものも全国で多くみられます。江戸時代に旧豊前国を領地とした細川忠利(たかとし)は、忠利が支配する細川藩小倉領と、忠利の父三斎(ただむね)の中津領とを含めた領内の主要道に、三十六町(約4キロメートル)毎に一里塚を築き、桜を植えて行人人の安全保養、旅程賃金の目安となる便宜をはかりました。現在の八ツ並地区にも街道の一里塚に建立されたと伝えられる庚申塔が移設され現存しています。

※1 中国の道教という教えに伝えられる最高神です。

※2 「庚申」は、干支(えと)の組み合わせの一つ。十干(甲乙丙丁戊己庚辛壬癸)と十二支(子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥)を甲子、乙丑、丙寅、…と組み合わせると全部で60種類の組み合わせができます。その一つが「庚申」で、「かのえさる」(コウシン)と読みます。

上毛町・吉富町合同消防出初式

上毛町・吉富町合同消防出初式が、1月18日(月)10時から上毛町トレーニングセンターで行われました。

出初式は、警察、消防、二町関係者のほか、多数の来賓が見守る中、厳粛な雰囲気のもとで行われ、坪根町長をはじめ、来賓の方々による各消防団の人員などの点検の後、団員への各種表彰などが行われました。なお、上毛町消防団関係の表彰者は次のとおりです。(敬称略)

福岡県知事表彰	垂永彰彦、堀田京介、栗田武
日本消防協会表彰	
勤続章	大桐豊
福岡県消防協会表彰	
竿頭綬	上毛町消防団
永年勤続 10年	小久保修司、穴田大介、松高道生、常慶崇裕、山下清三郎、宮元隆弘、高畑信広、今西博樹、中園公孝、小畑孝文、尾崎義広
15年	竹永利幸、川野博一、岩谷信宏、秋吉和彦、田中孝明、橋本浩
20年	垂永彰彦、堀田京介、栗田武
30年	前田祐文、佐藤秋司
35年	山本盛文



直売所向け野菜栽培講習会のお知らせ

野菜栽培技術の向上及び品揃えの充実、安全・安心な農産物の増加を図るため、直売所出荷者を対象に講習会を開催しますので、お気軽にご参加ください。これから出荷を予定している方も大歓迎です。

- 日 時 2月16日(火)10:00~12:00
- 開催場所 げんきの杜 研修室
- 内 容 ①春夏野菜栽培について ②農薬の安全使用について



●問い合わせ先 京築普及指導センター TEL 0930-23-4215

レモンの栽培講習会のお知らせ

上毛町地域活性化協議会(事務局:産業振興課)では、「美容に!」、「健康に!」と話題沸騰のレモンを、町内に栽培の輪を広げていきたいと考えています。次のとおりレモンの栽培講習会を開催します。受講された方にはレモンの苗を無料配布(後日)しますので、ふるってご参加ください。(苗の配布につきましては数に限りがありますので先着順になります)みんなで上毛町を爽やかなレモンの町にしましょう。

- 日 時 2月16日(火)13:30~15:30
- 開催場所 げんきの杜 研修室
- 内 容 ①栽培方法について ②病害虫の管理について



●問い合わせ先 産業振興課 農政係 TEL 72-3111(内線188)

図書館だより

げんきの杜図書館 TEL 72-1633

図書館開館日のお知らせ

火曜日~土曜日 10:00~18:00
日曜、祝日 9:00~17:00
休館日/月曜日(毎週)・月末(変更あり)

みつえばあちゃん とボク 岡野雄一

ちょいぼけのみつえさんは、今日もしあわせの記憶の中をうつらうつら。ペコロスの母みつえさんと孫のまーくんのかげがえのない時間を絵本のように描く。

みつえばあちゃんとボク 岡野 雄一【著】 西日本新聞社(入荷済)

ちょんまげとんだ 中尾 昌稔【文】 くらもん出版(入荷済)

風に吹かれて飛んでいく、おすもうさんのちょんまげ。落ちた先にいたものは…!? ちょんまげの起こす大逆転の連続が癖になる、ユーモア絵本です。

環境ポスター入選作品



南吉富小4年 ひがし まな 東 菜那

環境標語入選作品

省エネは みんなの地球 守るため
はやしだ ゆうま 西吉富小6年 林田 侑真

まあいっか そんな気持ちは 今捨てて
たなか じんのすけ 上毛中2年 田中 仁之助

地産地消レシピ



ポテトクリームコロッケ

- 【材料】4人分
- ホワイトソース
 - バター 30g
 - 薄力粉 30g
 - 牛乳 1+1/2カップ
 - 合びき肉 150g
 - じゃがいも 200g
 - たまねぎ 100g
 - 塩こしょう 少々
 - 薄力粉 適量
 - 卵 適量
 - パン粉 適量
 - サラダ油 適量

- 鍋にバターを熱し、薄力粉を入れ焦がさないように炒め、牛乳を少しずつ加えてとろみがつくまで煮て塩こしょうで味を調えます。
- じゃがいもは小切りにしてゆで、粉ふきいもにし、すりこぎで潰します。玉ねぎは粗みじん切り、合びき肉と炒めて塩こしょうをします。
- 熱いうちに①と②を合わせ、じゅうぶんに冷ましてから12等分し、俵型にまとめます。フライ衣(薄力粉・卵・パン粉)をつけ、サラダ油で揚げます。

●問い合わせ先 食育のまちづくり推進会議(教務課 学務係) TEL 72-3111(内線175)

おすすめ本

楽に生きるための人生相談	美輪 明宏【著】	朝日新聞出版(入荷済)
戦後70年につぼんの記憶	橋本 五郎【著】	中央公論新社(入荷済)
江ノ島西浦写真館	三上 延【著】	光文社(入荷済)
宝石ザミステリー2016	東野 圭吾【作】	光文社(入荷済)
めいちゃんの500円玉	なかがわ ちひろ【作】	アリス館(入荷済)